

◆着物 de 文化財**(2016 年度)**

事業内容：登録有形文化財は様々なシーンの舞台として有効である。例えば、着物を着てお茶を楽しんだり、その様子を写真にとったりしたいというニーズは高い。登録有形文化財と民間事業者とのつなぎ役を愛知登文会が果たすことで登録有形文化財の活用を推進することをすることが考えられる。そこで、その可能性を検討するため、民間事業者によるビジネス展開を想定し、そのモニター事業として実施した。

開催場所：小栗家住宅（半田市）

開催日：平成 28 年 11 月 23 日（水・祝）10：00～12：00

参加人数：女性 3 名（フランス1、ベトナム2）、男性 3 名（フランス1、イギリス1、アルゼンチン1）

実施協力：(株)KANEMATA (Rental Costume&Photostudio)

体験内容

項目	内容
着物体験	着付け師をお願いして参加者の希望する着物の着付けを行っていただいた。3人の女性の着付けに40分程度の時間を要した。
文化財に関するレクチャー	所有者から日本の文化財や小栗家住宅のことについて、英語と日本語（ベトナム人は英語がわからなかったため）で解説いただいた。
習字体験	小栗家住宅では訪問いただいた方に記帳をお願いしている。参加者の名前を筆で記入いただいた。
お茶体験	所有者を講師として、抹茶の入れ方、提供の仕方、いただき方を教えていただき、参加者が入れた抹茶を参加者に順番に提供していただいた。
写真撮影	天然記念物のモッコウバラのある庭でカメラマンの方に写真を撮影いただいた。体験の様子も写真撮影いただき、最後にその写真をプレゼントした。

